



地球暮らし

地球温暖化防止と
環境共生住宅を考える

株式会社さつまホーム企画室
地球やりなおし計画
事務局

やっぱり日本は技術で勝負しなきゃ

皆さんこんにちは、さつまホームの瀧川です。新年のご挨拶にはちょっと遅くなってしまいましたが、今年も読者の皆さんにとって良い年となりますようお祈り申し上げます。ニュースを観ていて、今の世の中「非正規雇用者ってこんなに多いのか!」と思わされます。特に製造業。「熟練工」のリストラが日本の製造業に与えたダメージは大きいはず。今回は年の始めに因み、日本発の素晴らしい環境技術の中から、「瀧川の独断」でいくつかをピックアップして、それらの動向をご紹介します。



再見！日本の環境技術 ~ 本当にたくさんある中から一部ですがおさらいします ~

太陽光発電

救うのは太陽だ
と思う。大
女優・吉永小百合
がテレビCMでこう
訴えかけるのを良く



耳にします。言うまでもなく、太陽エネルギーは環境負荷の面で満点の優等生。日本の技術・生産量は世界トップクラスです。今から10数年前にもてはやされながら、設置コストの問題から一旦下火になってしまった、家庭用太陽光発電装置のための補助制度がまもなく再開されます。経済産業省は住宅向けの補助制度を1月13日に開始すると発表。補助は出力1キロワットあたり7万円で、家庭向けの標準的な機器を約1割安く買えるようになります。標準的な家庭用の太陽光発電機器の出力は約3.5キロワットのため補助額は一世帯あたり21万 25万円程度になるそうです。今年新築をご検討の方は要チェックです。

屋上緑化

高度成長時代とともにとりわけ都市部
で顕著になってきたヒートアイランド
現象。私自身、旅行で沖縄から帰って来た

ら大阪の方が暑くて愕然とした経験があります。その原因は、都市部で緑地が舗装に変わったために、地面が水の代わりに熱蓄ばかりを蓄えるようになり、自然の冷却機能が損なわれたためです。そのため最近では「屋上緑化」がたいへん注目され、ビル新築の際に設置を義務付ける場合もあるほどです。実際その効果はすばらしく、巨大な屋上庭園を誇る大阪の「なんばパークス」



なんばパークス全景

では、緑地内の気温が周囲のアスファルト面より25 も低いそうです。

ただ、ひとつ問題点がありました。それは大量の土をビルの屋上に乗せなければならぬことです。土は重く、建物にとって負担となるばかりか、乾燥すると風で飛び散るわ、雨が多すぎると流れていくわで、特に高層ビルにとってはなかなか厄介なもの。でも、この問題ももうすぐ解決できそうです。土の半分程度の重さで植物を土以上にしっかりと育てることができる繊維質の固形人口苗代が開発されています。コス

ト面などの問題をクリアして普及することを願います。

光触媒

こちらもヒートアイランド対策に効果がありそうな技術です。光触媒をコーティングしたものの表面の濡れ性が高いことを利用して、雨水を使ってビルの壁や屋根など、建物の外壁表面に水の膜を作ります。水が蒸発するときに潜熱を奪いますから、周囲の大気のを温度を低下させることができるし、建物の省エネ効果も期待できます。垂直面で水面を確保できるので、屋上緑化と共に「都市を冷やす」効果が期待できます。実験データからの試算では、10階建のビルで年間降雨量の3分の1~6分の1で、真夏ひと月間、屋根と壁面を水で覆うことができるため、屋根表面の温度が40、断熱材の入っていない室内の温度が15~20も違うそうです。おまけの効果として壁が汚れにくくなり、清掃コストも安上がりになるとか…。ヒートアイランド対策となると「地域全体でやるもの」というイメージがありますが、この光触媒は雨水だけで高い省エネ効果が得られることから、ビルのオーナーに向けて省エネメリットをアピールしていけば普及につながるでしょう。

トピック

「ジェームズ・ボンド」も環境問題を撃つ

1/24からシリーズ最新作「007/慰めの報酬」が公開。ボリビアの広大な荒地で水を独占し、巨利を得ようとする環境マフィアに立ち向かうジェームズ・ボンド。燃料電池ハウスに水素タンクなど、次世代のエネルギー技術が随所に登場。

「環境車」の税優遇拡大に

自民党税。来年度税制改正で自動車重量税と自動車取得税について、低公害車対象に3年間の時限的な軽減措置を設ける方針。電気自動車やハイブリッド車を新車で購入した場合、環境性能に応じて3段階で両税を軽減。1台当たり平均10万円程度の優遇となる見込み。

情報リンク

環境goo

<http://eco.goo.ne.jp/>

環境関連の情報が満載。

ハロー!環境技術~チームマイナス6%

<http://www.team-6.jp/try/hello/>

お知らせ バックナンバーをプレゼント

多数のお申込みありがとうございます。引き続き「地球暮らし」全バックナンバープレゼント実施中です。右記のEメールかFAXまでお申込み下さい。

編集後記 今年も「精進」します

お正月にテレビを観ていると、毎度お馴染みの「地球環境スペシャル」をやっていました。ただ今年の内容は「エコロジーがんばろう!」一辺倒ではなく、「よく見極めて、本当に有意義なエコを選択しましょう」という感じでした。一歩前進ですね、今年もご一緒に勉強しましょう。

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com

FAX : 06 - 6855 - 7700

郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-12-11

㈱さつまホーム企画室

さつまホームは地球温暖化防止に取り組んでいます